

性的政治への「支援」関係の介入

——2000年代における在阪性的少数者団体の軌跡から——

戸梶 民夫

(京都大学大学院文学研究科グローバル COE 研究員)

2013年2月



京都大学グローバル COE

「親密圏と公共圏の再編成をめざすアジア拠点」

Global COE for Reconstruction of the Intimate and Public Spheres in 21st Century Asia

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学大学院文学研究科

Email: intimacy@socio.kyoto-u.ac.jp URL: <http://www.gcoe-intimacy.jp/>

要旨

本報告の目的は、性的マイノリティと女性の問題を対象としたある在阪運動団体の活動経過をたどりながら、2000年代において当団体の活動方針の変化を明らかにし、それを統一規範の拡散と正義のフレームの介入という構造変化の流れに結び付けて理解することにある。具体的には、参与観察の知見を参照し、かつ当団体が発行する会報のドキュメント分析を行うことで、「クイア理論的な解釈実践の政治」と「フェミニズム思想に基づいた相互的な支援」の二つの団体の軸の関係が変化し、前者のクイア政治が抽象化し、かつ後者の相互的な支援がその相互性を弱めて当団体の言説空間の背景へと退いていく傾向を明らかにする。

キーワード： 支援、クイア政治、正義

2011 年度次世代研究「性的市民性と性的少数者運動の公共圏変容」（研究代表：戸梶民夫）による成果である。

【メンバー】（ ）内は 2011 年度プロジェクト時点

戸梶 民夫（京都大学大学院文学研究科グローバル COE 研究員）